



No. 140

令和5年10月25日発行



いけだ 議会だより

特集! 住民と議会の懇談会

10名の議員が一般質問で取り上げました!

- 議会活動報告(6月~9月)
- 裏表紙 三世代がつなぐ例大祭

この町を未来につなげたい

ドローンから町なか一帯、北アルプスを望む

町民と議会の懇談会

(要望のあった自治会)

議会は、町民の意見を広く的確に把握するため、町民と議会の意見交換会(議会報告会)を開催しました。

共通テーマを除く主な意見(詳細は次頁)

半在家地区懇談会

8月20日19時

半在家集落センター

住民15名 議員10名



- ・財政問題、何が問題なのか
- ・地域おこし協力隊の活用
- ・町おこしで町活性化 議会の後押し
- ・会染西部ほ場非農用地、会染保育園統合案、小学校統合問題
など

洪田見 中木戸・新屋敷地区懇談会

8月20日10時

洪中公民館

住民11名 議員10名



- ・少子化対策で、行政による奈義町視察の成果は
- ・自治会負担減らすには
- ・八十二銀行池田支店の移店は事前に情報提供を
など

一丁目地区懇談会

8月26日19時

一丁目基幹センター

住民9名 議員7名



- ・会染保育園統合案の賛成または反対の理由は
- ・工場誘致で若い世代の定住を
- ・土地利用計画の全面見直しで宅地化を
など

陸郷地区懇談会

8月26日15時

豊盛公民館

住民8名 議員9名



- ・辺地債 県と連動を／高規格道路の状況、八代線を県道に
- ・子どもが中学卒業後、交通手段としてのスクールタクシーがなくなる
- ・あずまやにプレート、防火水槽に蓋の設置を
- ・人と共存の池田独自の生物保全
など

渋南地区懇談会

9月9日18時

渋南集落センター

住民19名 議員11名



- ・コロナ禍前のふるさと祭り等どんどん積極的にするべき
- ・池田町の基幹産業は米作。もっと消費拡大、営業展開を
- ・議会改革の目標とその成果は
- ・議員個々に自分のテーマを持って、継続して取り組んでほしい
など

吾妻町地区懇談会

8月27日13時半

吾妻町ふれあいセンター

住民5名 議員10名



- ・池工問題県に要望書を 池田町として土地確保で名乗りをあげる
- ・池田町郵便局で荷物取り扱いを
- ・自治会の現状 自治会要請に町は十分な対応を
など

住民要望に応じて

住民との意見交換会は声、要望を聞くことが目的です。
その声はどう応えて実現させていくのか、議会に期待が寄せられる。

質問、要望の多かった項目

高校統合案

池田町に新高校誘致を働きかけてほしい!

[議会取り組み姿勢]

町長に諮問、9月14日宮澤県議を招いて議会との意見交換会開催。
行政と議会が連携して取り組んでいくことを決定。



自治会

負担が重荷になってきている。自治会離れが増えてきている。
町配布物、集金や草刈り・除雪も多くの自治会が担っている。
一方で自治会要請に対する行政の十分な対応が求められている。

[議会取り組み姿勢]

これまでも自治会負担など問題視し一般質問等で取り上げている。
議会内で議論を重ね、今回の要望等を行政に求めていく。

会染保育園

長年議論されてきた。早く決着をつけるべきだ。
近隣住民や保護者の方たちの意見をもっと聞くべきだ。

[議会取り組み姿勢]

町長に対して町民説明会開催を求めていく。その上で広く保護者、町民の声を議員一人ひとりが聴いて判断していく。



今の池田町の財政問題、なにが問題? 今後どうなっていく?
議会は町民の意見を聞き、行政に提言してほしい。

[議会取り組み姿勢]

要望のあった地域で説明会開催。
行財政改革推進委員会(新)を立ち上げ、財政改善進捗状況を検証。
議会も引き続き財政検証を行い、しっかりチェックしていく。

[その他出された意見等](抜粋)

- ・ 少子高齢化、人口減少問題の対策はしているのか。
- ・ 子育て環境を大切に、小さい子どもが増える施策を。
- ・ 財政問題を前向きに捉え、町活性化に力をいれてほしい。
- ・ 町がどうしていきたいのか見えない。いきいきした町づくりを望む。
- ・ 議会は町の方針に反対するだけでなく、提案もどんどんしてほしい
- ・ 議員の皆さんには地域に密着した活動を望む
- ・ 商工会・行政・議会がもっと連携して商工業の活性に力を入れてほしい。

10人の議員が
9月一般質問で取り上げました。
今回の意見、要望等をとりまとめ、
行政に提出します。

6月～9月の主な議会活動

研修 / 視察 / 意見交換会



【会染保育園視察、意見交換】

7月12日－会染保育園 園長、係長懇談－
火災報知器、ボイラー室不具合
スポットクーラー、扇風機併用
雨漏り箇所、トイレ・園児室随所の暗さ
各所劣化問題



【池田松川連絡会】(池田・松川議会)

7月13日－松川村視察－
松川の文化財や施設めぐり
松川村議会との意見交換会



【池田町の農業問題】

7月12日－農業振興協議会－
これまでの経過説明、進捗状況
9月1日－池田町農業者等との意見交換会－
地域計画に基づく10年後の農業の姿
問題解決に向けた農業法人の提案



【県内町村議員研修会】

7月14日－松本キッセイ文化ホール－
これからの少子化対策
議員のなり手問題と住民参加の議会の姿
大正大学准教授
毎日新聞論説委員



【広津地区視察、意見交換】

旧広津小学校、旧体育館解体問題
消防団なり手問題 自治会要請
町道の保全管理



【陸郷視察、意見交換会】

6月30日－文化財視察－
辺地債問題県に要望を
災害復旧工事、登波離橋塗替え要請
住民減少の中での維持管理問題



主な議案の説明と 審査結果

9月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	矢口結以	三枝三七子	山崎正治	大厩美秋	中山眞	矢口稔	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
承認	令和5年度一般会計補正予算(第4号)について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和4年度池田町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度池田町工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	令和4年度水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度下水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町立美術館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	移住促進等関連補助金及び下水道引込工事費の見直しを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現行の健康保険証を残すよう国に意見書提出を求める陳情	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	私立高校への公費助成に関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※横澤議長は表決には加わりません。

10議員が 町政を 問う

質問者	主な質問事項
中山 眞議員	町の将来像を明確にしそれに合わせた財政運営を
大厩 美秋議員	池田工業高校の統合新校誘致及び存続に向けた考えは
薄井 孝彦議員	災害時逃げ遅れゼロ対策を問う
服部 久子議員	会染保育園統合による園児と地域への影響
矢口 稔議員	自治会要望に対する町の対応は
矢口 結以議員	池田町認定こども園について
三枝三七子議員	社口原及び非農用地の現状を訊く
山崎 正治議員	いじめ問題を問う
和澤 忠志議員	農業政策全般について
大出 美晴議員	道の駅側のこれからの方向性について



財政検証をふまえた
総合計画策定を

なかやま まこと
中山 眞 議員

財政コントロールと総合計画

問 第6次総合計画後期基本計画（以下、総合計画）策定に当たっては財政再検証をし、現状の課題を明確にした抜本的な見直しが必要。それをふまえた重点課題を示すべき。町長の考える重点課題とは。

答 急激な人口減少、少子化が最重要課題と捉えている。また、高齢化に伴う農業・交通・医療介護などが喫緊の課題である。

問 経常収支比率のコントロールが適正な財政運営には不可欠。以前の水準に戻す努力をするべき。町長の経常収支比率に対する認識は。また、財政政策とのバランスをどうとるのか。

答 経常収支比率が上昇した背景に高齢化に伴う社会保障関係費など財政構造の変化がある。会計年度任用職員の新制度になり、人件費として計上されるため、一気に上昇したことも影響している。一律の目安の評価でなく、経年比較や類似団体との比較検証が重要である。

問 大型事業による実質公債費比率の上昇が懸念される。新規起債の抑制は町の将来を視野にした課題である。

また、各事業を単体でとらえるのではなく、予定される大型事業を総体的に捉える中期の展望を総合計画に反映させるべき。

大型事業の展望と起債抑制策は。実質公債費比率の直近の見通しは。

答 大型事業として、会染西部ほ場整備、会染小学校大規模改修、保育園などがある。実質公債費比率は令和7年度の15.3%をピークと捉え、新規事業によっては数値が上がってしまうので、慎重に判断していきたい。

池田町特有の地域資源を活かした町おこし

問 総合計画に積極的な増収策が盛り込まれているのか。町の特性を活かした振興策の計画は。

答 基本計画に財源確保としてふるさと納税寄付金の増、未利用財産の処分、使用料手数料の適正な改定、効果的な収納対策をあげている。また各事業で連携し支援強化を図っていく。

問 観光協会で旅行者と連携したバスツアー計画がインバウンドも視野に進行中で、地域資源を保全し地域住民も恩恵を受けられるサステナブルツーリズム（持続可能な観光）が期待される。そこ

に町内の多くの事業者が参入している。行政側も交えたプロジェクトで持続化を図るべき。町内事業者の商品開発や販売拡充、人材育成での後継者づくり支援も必要と思う。具体的に町おこし政策をどう総合計画に盛り込み展開しようとしているのか。

答 町内各事業者、グループが本当に熱心に展開している。様々な関連団体の協力をいただき、池田町ならではの観光資源を活かしたプログラムツールを構築し、今後の持続的な観光振興につなげていきたい。



バスツアーが始まったハーブステーション一帯





池田工業高校の統合
新校誘致に向けた考
えは
大塚美秋 議員

問 県立高校の第2期再編「3次案」で池田工業高校・南安曇農業高校・穂高商業高校の3校統合が2023年1月に決定された。今後、懇話会で校地についても意見交換されるが、多くの町民が池田町へと願っている。町長の思いと施策は。

答 池田工業高校は、当町にとって言うまでもなく唯一の高校であり、仮に町外となれば町の活性化に大きな影響を与えてしまう。新校誘致について出来る限りの力を尽くして取り組む決意である。校地としては、現在の場所が有力と考える。

問 町には鉄道が無いため、町外からの生徒は最寄り駅から町営バスか自転車で通学している。同様に町外へ通学している生徒もいる。また、子育て世代の移住促進にも少なからずプラスになると考え全ての高校生を対象に町営バス運賃の無料化を提案する。町長の考えは。

答 池工を考える各種委員会に於いても大きなハンデとして最寄り駅から遠いことが挙げられ、議員の提案通り無料化の意見が出ている。今後、無料化に向けて動いていく。

問 町外の私立中学校等に通学している生徒も対象にしていただきたいが、同様に対象としたい。

答 個別施設計画における旧広津小学校の今後は

問 旧広津小学校跡地は2023、2024年度に取壊し、広津林間学校（体育館）は2025年度に取壊しの計画になっている。実施に向けた町の対応は。

答 旧広津小学校跡地は、今年度、来年度に取壊しの計画となっているが、近年の解体撤去費用の高騰や緊急度・優先度等を考慮した結果、先送りとなっている。広津林間学校も同様の理由で計画どおりに実施できるかは、現時点では明言致しかねるが、計画から大きく遅れることなく実施したい。

問 自治会要請に対する町の回答で、個別施設計画に計画されていることは実施年度未定ではなく、しっかり年度の明記を望む。町の考えは。

答 今年度の自治会要請についてはすでに回答してしまったが、来年度からは明記をしたい。

問 個別施設計画における旧池田北保育園の今後は

答 旧池田北保育園は、使用されなくなつて10年が経過した。長年跡地利

用が望まれてきたが、ようやく町長から宅地利用とする方針が示された。個別施設計画では2029年度に取壊しとなっているが、方針が決まった現在、計画の変更と今後の対応は。

答 旧池田北保育園は「まちなか」に位置し立地が良いことから、人口増対策として宅地利用することが得策と考えた。近年の解体撤去費用の高騰等で高額な費用が生じるが、実施に向けて今後はアスベスト含有建材調査を実施し、解体撤去費用の概算金額を算出する。その先の解体撤去工事、更には払い下げに繋げていけるよう努めていく。

要望 地元住民の方々から、しっかり理解を得ながら実施されることを望む。



宅地として利用が決まった旧池田北保育園





薄井孝彦 議員

会染保育園の池田保育園への統合を問う

問

保育園統合の方法・時期についての最終的な考えは。

答

今後の入園児の推計から両保育園を統合する。未満児は若干オーバーするので池田保育園の一時保育室、病後児保育室などで対応する。統合時期は池田保育園見学会及び説明会を通して意見を聞き、令和6年度又は7年度から実施する予定である。

問

会染地域から保育園がなくなれば次の①から④のような問題点が出てくる。以下、町長の考えを問う。

①会染地域の人口減・衰退につながる

問

池田町への転入者数や若者（20歳～40歳）移住数を調べると会染地域の方が多。会染地域から保育園がなくなれば同地域への若者移住者は減少し、同地域としては町全体の人口減・衰退につながる。どのように考えるか。

答

会染地域から保育園がなくなれば、少なからず影響はある。しかし、統合により新たな地域力が生まれる。

②会染地域保護者の送迎負担が大きい

問

町南部から池田保育園まで車で子どもを送迎するのは大変である。保育園は子どもを送迎するのに便利な居住地の近くに置くべきである。また、池田保育園周りの県道・町道の交通渋滞や交通事故発生の恐れもある。どのように考えるか。

答

統合の折には交通安全に留意する。

③2園存続が子どもの成長に最も良い

問

子ども達が元気にのびのび育つには、遊べる広い場所が不可欠である。統合により園児一人当たりの保育室・園庭の面積は低下する。2園存続こそが園児の成長に最も良い。敢えて混雑する統合を選ぶ理由は。

答

統合しても3歳児以上では1部屋最大25人であり、国の基準を十分クリアしており、子どもの成長に影響を及ぼすとは考えていない。

④財政理由で保育園をなくして良いのか

問

町の財政シミュレーションでは会染保育園を改築しても大丈夫としている。町財政が厳しいからと、地域の宝である「子ども」に重要な保育園をなくすことは「教育大綱」の精神にも反する。出生数20人でも会染地域で定員60人規模の保育園は成立する。定員60人から70人の中規模の保育園は大町市・安曇野市でも存在する。

中規模保育園でも存続すべきである。

答

行革委員会から財政負担を少なくすることを求められており、統合により7億円程度の財政削減につながる。

旧八十二銀行池田支店ATMの設置継続を

問

旧八十二銀行池田支店のATM設置は来年5月14日までとされている。現ATMは通帳繰り越し機能がないなど不便である。高齢者が町内で通帳繰り越しができるよう銀行と交渉して欲しいが。

答

ATM設置場所を決め銀行と協議する。

市民農園の積極的なPRを

問

市民農園をPRし町外の利用者が増えれば移住定住に役立つ。町のホームページの動画画面で市民農園のPRを。

答

町のホームページでムービーでロケーションの魅力も伝えられよう取り組みむ。

表 令和元年度～4年度 転入者・移住者の住所先

	住所先			計
	会染地域 (鶴山・中乃 郷も含む)	池田地域 (町部)	その他 (広津・ 陸郷)	
A 転入者の住所先	691	560	6	1,257
	55.0%	44.5%	0.5%	100.0%
B 移住者の住所先	193(66)	110(35)	1(1)	304(102)
	63.5%	36.2%	0.3%	100.0%

A: 転入者の住所先 (住民課調べ)
B: 移住者(※)の住所先 (総務課移住定住係調べ)
※ 移住定住係の移住者とは移住相談・空き家バンク・補助金・移動準備住宅・地域おこし協力隊に関係した町外からの転入者を言う。
注: ()内の数値は移住のうちの若者(20歳～40歳)の数

転入・移住者数





はっとりひさこ
服部久子 議員

会染保育園統合による園児と地域への影響

問 町長は、会染保育園を池田保育園に統合する案を示したが、住民説明会で当時の教育長は、「地域の子どもは地域で育てる池田学問所の精神を大切にし、会染地区から保育園をなくす考えはない」と答えている。統合案と矛盾するが。

答 当時の総合計画は出生数が60人だったが、令和5年度の出生数は20人と状況が変わった。

問 未満児保育室を、最初は増設としたが、その後、民間事業所を誘致するとし、最終的に病後児保育室と一時保育室を使用するとした。病後児や一時保育の利用者が出た時はどうするのか。

答 保育士の皆さんと十分協議した結論である。

問 統合すると過密状況になり、保育士の仕事量が増え労働環境が厳しくなる。また、発達障害と判断される児童が増える傾向もある。個々に目が行き届かない状況が生まれるが。

答 池田保育園の3歳以上児は、学年2クラス対応で過密にならない。1か所に対応するため保育士の労働環境は改善

される。

就学援助の基準額の引き上げを

問 町は数年前、就学援助基準を生活保護費の1.5倍から1.2倍に引き下げた。最近の物価高で、子育て世帯は厳しい状況である。就学援助基準の引き上げを求めるが。

答 コロナ禍を考慮し1.5倍以内で運用している。来年度以降、物価高騰の影響を考慮していく。

3歳未満児保育料の軽減を

問 町の3歳未満児の保育料は近隣市町村に比べ高額である。保育料の軽減を求めるが。

答 近隣市町村と比べ高いと認識したので軽減を検討する。

問 時期と軽減額はどうなるのか。

答 来年度当初から軽減し、額の具体案は出ていない。

ヤングケアラーの調査の結果と対策

問 県のヤングケアラーの調査結果が出た。町の状況は。

答 自分がヤングケアラーと自覚し家族の世話を希望する児童生徒が3人いた。本人に聞き取り調査を行ったが、支援を要する状況ではないと判断した。今後と

も学校、多世代相談センターと連携し対応していく。

問 児童は、ヤングケアラーと自覚がない。学校、関係機関の連携と周知と相談環境の構築を。

答 10月の要保護児童対策協議会で協議する。

難聴者への補助を求める

問 高齢者の補聴器購入補助と「軽度・中等度難聴児補聴器購入等助成事業」の実施を。

答 難聴児の補助を優先させたいためご理解いただきたい。



会染保育園





矢口 稔 議員

自治会要望に対する町の対応は

自治会要請

問 毎年、各自治会から様々な要望がある。本年度は全189件で、水路や道路の補修、交通安全、鳥獣害対策、防災面での整備など多岐にわたっている。要請回数も約30年と長期間要望している事例もある。複数年に渡る要望の対応は。

答 要望される案件にはそれぞれ理由がある。予算規模と重要性、緊急性など総合的に見て先送りしているものもある。町全体の要請をみて、老朽化の激しいものなど優先順位の高いものについては適宜実施している。今回の補正予算で2千500万円を計上している。

自治会活動の負担軽減を

問 ある自治会の皆さんとの意見交換会で「自治会に入るメリットは何か？」と切実な質問があった。自治会長のみならず不足も今後出てくる。自治会活動の負担を軽くするための自治会相互のアイデアの共有を進めてはどうか。

答 情報を流すだけでも相当な分量になる。合理化を図る中で情報交換の場所を設けて、新しい発想のもとに自治会の改革をしていくという事もできるのではないかと思います。

各種イベント、今後の開催は

問 町が関わるイベントが他市町村に比べて非常に少ない状況である。今年も町内産のワインや地酒は各種大会で金賞を獲得している。ワイン祭りや酒蔵まつりの来年以降の取り組みは。

答 再びコロナウイルスの感染が徐々に増えつつある。状況次第ということはあるが、賑わいのある企画ができればと考える。観光協会とよく協議しながら検討をしていきたい。

職員の早期離職の原因は

問 近年になって職員の休職や早期退職が少し目立ってきている。今年度当初は4名の方が早期離職されている。現場の職員の方は余裕がなく働いている姿も目している。原因はどこにあるのか。

答 職員を取り巻く環境は通常業務に加え、国等の新たな施策等への緊急対応などが増えている。また、公務員としての振る舞い方やコンプライアンス遵守など、プレッシャーを感じて多くのストレスを抱える職員がいると考える。早期退職は

終身雇用制度の概念が薄れ、転職される方もいると思う。

様々なハラスメントへの対応は

問 ハラスメント（嫌がらせ）は誰でも受ける可能性、与える可能性もあるという認識のもと、今でも苦労している方もいるのではないかと考える。また、町の権限が及ばないところの対応は。

答 相談先はハラスメント相談員であるが、半数以上を女性とし、気軽に相談できる体制となっている。権限外の場合では、対外的な専門分野の方に相談して解決の道を探っていく。

問 ハラスメントに対する町の予防や対策など今後の対応は。

答 今年度からハラスメント防止に関する規定を施行した。認識及び防止方法、対処方法、相談対応について指針の整備を現在進めている。



毎年多くの要望がある自治会要望 (一覧)





池田町の子育て支援
策と認定こども園の
課題
矢口結以やぐちゆい 議員

一時保育利用について

問 一時保育2回目以降を利用される利用登録者には、いつでも空き状況が確認できるように、オンライン化するなどの工夫が必要と考えるが。

答 公平性を保つためオンライン化は見送っている。

会染保育園について

問 子育て世代のリアルな生活と統合案はマッチしない。行革委の出した第3案も検討に入れるべき。7億円もかけて保育園を建てずとも、小さい保育園を新たに建てるといふことも十分考えられるはず。1園の方針を出した町長は、この町をどのような町にしたいのか。

答 地域の皆さんにとってはその利便性から不便をかける。決して遠い距離ではないと考えている。

問 統合という方針ではなく会染保育園をどう存続させるのかを考えるのが町の役目と考える。町長、教育長それぞれの考えは。

答 甕町長・5年もかけて町民の皆さんと対話をし、ご意見を伺いアンケートを取り総合的に考えた結果である。山崎教育長・保育園の数や規模で、保育政策、また学校教育の政策が変わるといってもではないと思う。教育大綱に沿って質の高い保育を目指す。

問 未満児のいる家庭への支援について産前産後のケアについて

問 産後ケア事業宿泊型だけでなく、通所型などの助成について導入の考えは。

答 産後ケア事業宿泊型だけでなく、通所型などの助成について導入の考えは。協議していく。

問 産後ケア事業委託先の助産院おりにや出産した病院などで引き続き支援を望むお母さんのために、委託先を増やす必要があると思うが。

答 委託先を増やしていく方向で調整中である。

問 産婦健康診査について

問 産後1ヶ月の方に1回分の検診補助券が出る。しかし近隣市町村のほとんどで、産後2週間健診と産後1ヶ月健診の2回分が補助されているが。

答 全ての妊産婦に対し助産師の訪問支援をかなりの回数行っている。他市町村ではなかなかない。そのため助成1回である。

池田町の文化財、自然保護について

問 地域住民が町の文化財や地域の自然について身近に感じるための町の取り組みは。

答 これまでも多くの方に町の歴史文化を知っていただく機会を提供している。

問 広津の楡室神社の獅子舞は大学生を含む若者が復活させた。町としても地域を継承することに努力していただきたいが。

答 行政としてはその活動に支援を惜しまないつもり。活動の発表会や展示会、イベント等が行われているため参加をしてほしい。町の歴史文化については、地域活動や資料館見学等を通して子どもたちに継承されている。希少種保護については、専門家等との意見を伺いながら対処していきたい。



統合案が示された会染保育園





みやざき みつあき
三枝三七子 議員

デマンド交通の早期
実証実験を

問 高校生・中学生の町営バス利用料金を無料化すると昨日答弁された。小児料金も無料化にしないのか。なぜ小児料金を設定しなかったのか。町民提案も2回も同じ内容が提出されている。

答 高校・中学生は通学の為。小児料金は乗車料金が安価であるからシンプルにするために設けていない。

問 6月一般質問でも公共交通部会を年1回1月だけでなく早急に開きデマンド交通の実証実験のための申し込みを来年4月をめざしたいとの答弁であったが、どうなったのか。

答 10月に交通に関するアンケートをとってから検討する。

問 会染保育園のクーラーは何故付けないのか？個人の方から夏前に寄付したいといわれたが。

答 個人的な寄付を受けないわけではなく、会染保育園の方向性がはっきりしていない中では、合理性に欠けるので受けなかった。また子どもたちからも不満の声がない。今ある企業寄付を受けた冷風機で対応した。

問 会染保育園統合問題は、単に保育園だけの問題ではない。6月の一般質問で示したように、子育て働き世代の人口流出問題にも影響がある。町長の統合の根拠としている7月のアンケートは来年4月統合を問うていない。是非、町民説明会を。

町民説明会は考えていない。

問 農業振興協議会は去年8月から開かれていますが町内農業者の参加がそもそも少ない。これでは絵に描いた餅になりかねない。どう思うか。

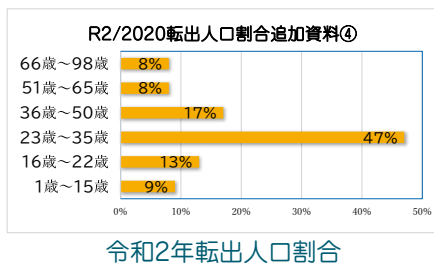
答 諮問機関ではあるが、池田町の農業の抱える問題には県の開発地も含まれており、今の委員構成になっている。

問 地域計画策定と社口原問題、新農業法人の問題は別々に考え、また非農用地にサッカー場をつくる計画の見直しをしてほしい。財政逼迫がもう一度起こる可能性があるように見える。責任ある答弁を求める。

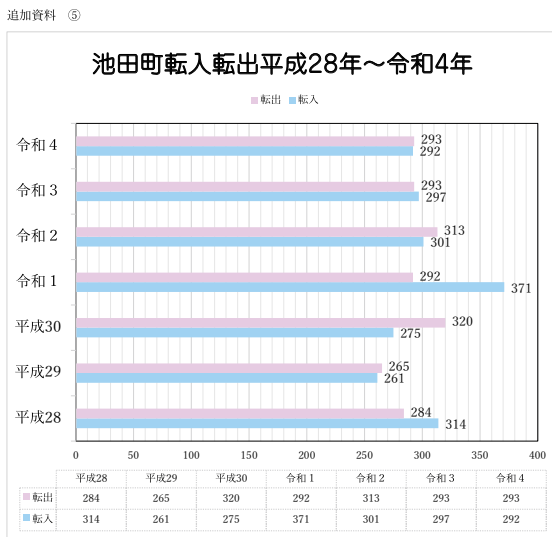
答 非農用地の整備は当初計画に基づき7億円弱の規模の予算を計上し財政シミュレーションに含んでいるのでこれによる財政の悪化は考えていない。

意見 保育園統合問題も、非農用地の問題も外堀をすべて埋められて議会は、ただ「承認するだけ」の機関となってしまうている。今の町の状態は、二元代表制とは言えない

のではないかと。新規就農者は微増だが、大北で大きな組合組織などを作り国がすでに出している補助金を活用しワーケーションと移住をセットに考えてほしい。



働き世代の転入が毎年200名。しかし転出するのと同じ世代の同じ数。定住化ができれば人口は必ず増える。





いじめ問題を問う

山崎正治 議員

問 いじめ問題について町長の所見は。

答 常に子どもたちの状況を把握し、意識を持って未然防止に努め、人の痛みがわかる教育を心掛ける。

問 池田町におけるいじめ問題の現状は。

答 いじめ認知数は令和4年度小中42件、不登校数は小中35名、中間教室は9月1日現在登録者7名、スクールカウンセラーは8名。

問 いじめ問題の対策と課題そして予防は。

答 年間を通して、道徳教育を中心とした相手の気持ちや立場を考える学習や、小中学校共に人権旬間における人権学習の積み重ねが、いじめ予防につながっている。

問 NHKの行動宣言に登録し、「いじめ行動宣言の町」を内外に宣言しては。

答 児童生徒が自分の問題として深く考え、いじめのない学校をつくっていくこととする強い意志を醸成することが重要で、その過程の中で学校が行動宣言に取り

組みたいと考えれば支援したい。

町の職員の職場環境について

問 数年間の離職者数と休職者数の推移は。

答 離職者数は令和2年度5名、3年度7名、4年度4名、休職者数（育児休業を含む）は2年度8名、3年度11名、4年度13名。

問 職員アンケートの内容と検証結果は。

答 課長が職員と面談する「課長個別面談事前アンケート」では、人員が減る中で業務についての不安が8割という結果で、イライラが募るようになり人間関係がギクシャクするようになったなどの意見が多かった。

問 ハラスメント対策委員会の設置とコンプライアンス研修は。

答 ハラスメント相談員、苦情処理委員会にて対応する。

コミュニティ・スクールの現状と課題

問 理系離れと叫ばれて久しい。コミュニティ・スクールに学びの場を。

答 理科関係においても学校から希望があればその意向に沿って対応したい。理科にもっと興味を持っていただき、理系の大学へ進学する生徒の拡大を。

答 文系・理系という垣根を越えて、子どもたちが様々な事象に興味関心を持つような場を今後とも大切にしていこう。

行財政改革推進委員会の準備の進捗状況について

問 町長は委員会スタートは10月と明言したが実効性があるか。

答 10月中、もしくは11月初旬には開催予定。

岡山県奈義町を視察研修してどのように池田町に導入していくか

問 奈義町での少子化対策や子育て支援の学びを問う。

答 最大の課題は人口減少であり、町の最優先施策であるとの認識である。

問 奈義町の先進性をいかに導入するか。

答 町有地に若年層向け有利な条件の住宅の建設など、徹底して住むところの確保に注力している。





地域計画について

和澤忠志 議員

問 地域計画は令和5年と令和6年の2年間で10年後の地域農業の担い手を定める計画であるが、どんな日程で進めるのか。

答 手順としては目標地図の素案作成を農業委員会に求める。農業委員会では現状や農地所有者の意向や農地を借りたい担い手の意見等を把握する。この調査は今年度の下半期で実施する。その後、令和6年度上半期で目標地図素案を策定し町に提出する。町では提出された素案を多様な担い手などによる協議の場を設けて地域の話し合いを実施し結果を公表する。その後話し合いの結果を踏まえた地域計画案を作成し農業委員会、長野県農業開発公社、JA大北、土地改良区などからの意見聴取後、計画案の公告をし、2週間の縦覧期間を経て令和7年3月までに策定完了となる。

水張りルールについて

問 地目が水田になっていると、減反をしている水田は令和4年〜8年の間に稲作を一年間しないと減反奨励金が出な

くなる政策が打ち出されているが、対象外となる条件は。

答 「畔などの湛水設備を有しない農地」や「所要の用水を供給しうる設備を有しない農地」は、交付の「対象外」となると記載されている。この5年間に水稲作付を行ったほ場とこの期間のどこか1ヶ月間水を張る湛水管理を行い、連作障害が発生していないほ場についてのみ、令和9年以降も引き続き交付金の対象としていくのが本制度の趣旨である。

問 農家にとってどのような影響がでるのか。

答 水が張れないなどで令和9年度より交付金の対象外となった農地は借り手がいなくなることも考えられ、耕作放棄地になる事が懸念される。

問 減反政策を進めるための政策なのにまた水張りをしないと奨励金を出さないと政策は農家いじめであり撤回すべきであると思うが。

答 この件では農業委員会で、国に要望書を提出している。



10年後も農地を守れるか





道の駅（県道東）側の
これからの方向性につ
いて

おおいでよはる
大出美晴 議員

問 3月議会において指定管理にすると町長は答えたが、その後の進捗状況は。

答 指定管理者による管理に移行できる
よう進めている。審査会の委員報酬
と費用弁償は、本定例会で予算計上してい
るので、議決いただいたら9月末をめどに
募集を開始する予定である。

問 指定管理にして、花とハーブの拠点
として活かしきれるか、その可能性
を聞く。

答 花とハーブの里作りの拠点であり形
が整ってきた。また、協力者も生ま
れ基地として整備が進みつつある。

問 ラベンダー園の植え替え、ほ場の整
備は指定管理に出すのか。

答 ラベンダー園は花とハーブの里の象
徴的な場所であるのでなくす考えは
ない。しっかりと管理・保全をしてもいい。

他市町村との交流について

問 他市町村との交流が未だに深まって
いないが、何か障害になるものがある
のか、あるいは町長の方針なのか。

答 交流はメリットがあると承知してい
る。諸般の事情により事業に割ける
人がいない。様子を見て着手したい。

問 他市町村と姉妹提携や、それに類似
した交流をすることで経済効果が上
がるのでは。

答 経済効果は当然生まれると思う。今
直近で具体的なことは、台湾の小中
学校とオンラインで交流が決まっている。
将来台湾との交流も図れる可能性がある。
また台湾への輸出という道が開け経済効果
が生まれる可能性もある。

問 横浜磯子区との交流はどう進めてい
くのか。

答 交流の意義は十分あるので、できる
限り交流を続けていく。また池田町
は山、そして横浜は海があることで、子ど
もたちの交流も意味のあることと考える。

問 岐阜県の池田町との交流は。

答 今以上の進展は考えていない。今後
の状況を見て検討する。

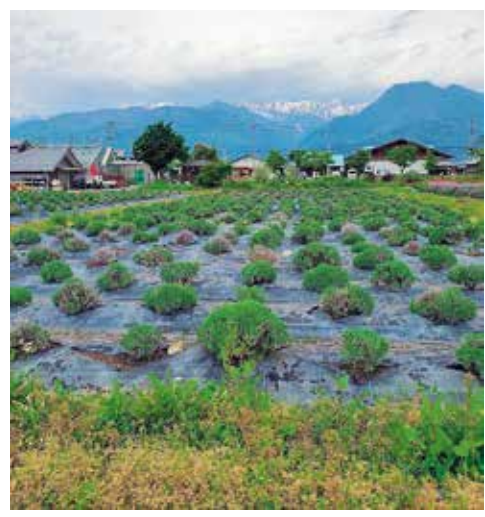
シニア世代の対応について

問 いつまでも元気で働き、運動できる
環境が必要であるが町長の考えは。

答 働くことや体を動かすことは大事で
ある。町として各種健康教室を開催
し、参加を促すよう努めている。

問 自治会等のコミュニティの在り方
は。

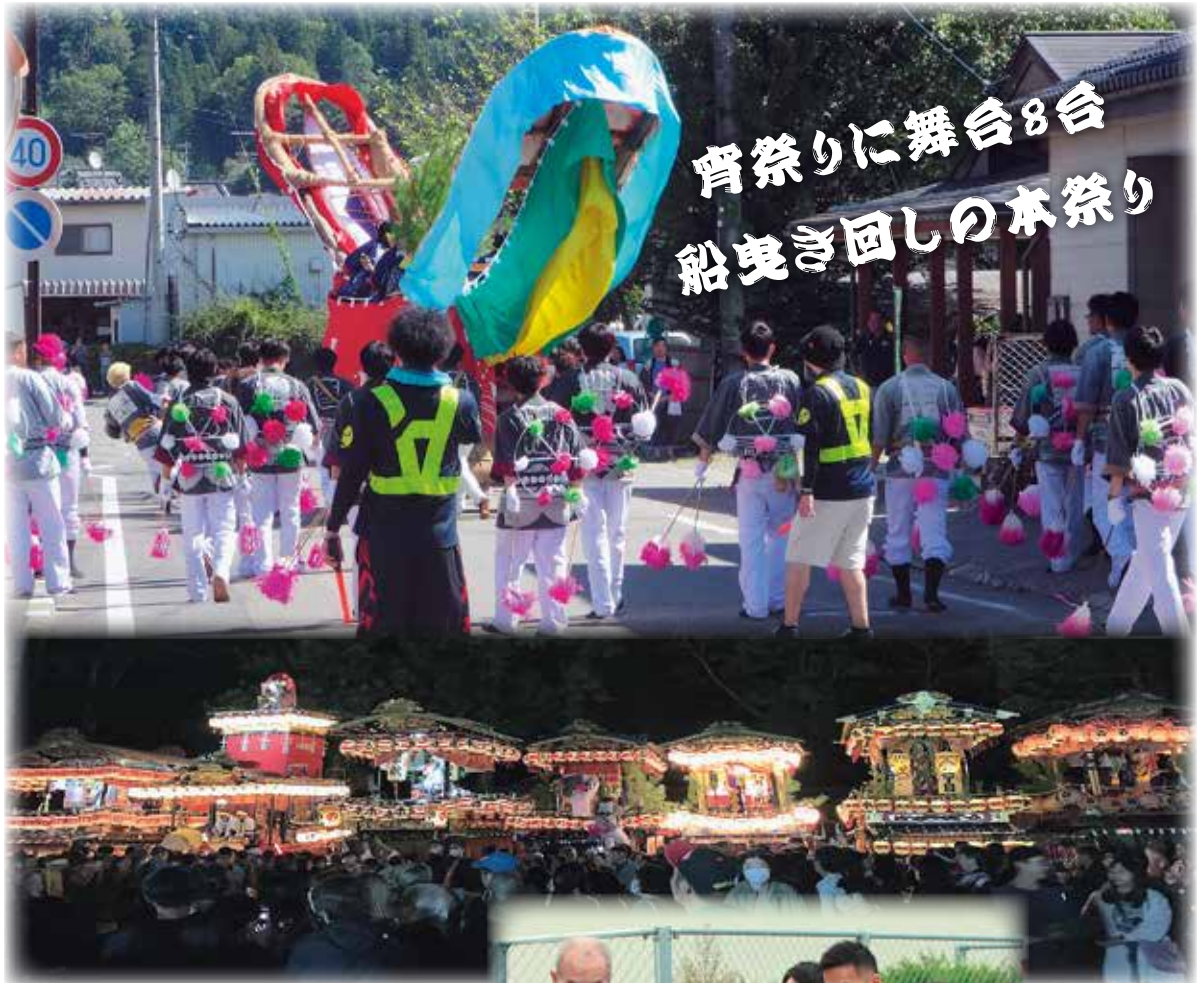
答 自治会協議会でも常に話題になって
いる。地域のことは地域の方が主体
性をもって取り組める施策でなければなら
ないし、町からの押し付けではない。い
ずれにせよ大きな課題であり、自治会の
あり方について町も十分関与しながら取り
組んでいく。



ハーブガーデンラベンダー園



池田八幡神社例大祭



宵祭りに舞台8台
船曳き回しの本祭り



子どもの笑顔が：
大人の頑張りが：
町を元気にする！



三世代が活躍する！
次の代につなげる！

編集後記

令和2年に日本で新型コロナウイルス感染症が初確認され、それから3年余り、たくさんの制限の中、日常とかけ離れた生活を余儀なくされてきました。そんなコロナも本年5月から感染症法上の位置付けが第5類に変更され、少しずつコロナ前の日常に戻っていると感じます。

学校行事では保護者の方々の応援や参加も緩和されてきました。公共施設の利用も増えてきています。「池田あっぱれ」は見送られました。が、パワーアップして来年に期待です。池田八幡神社例大祭は4年ぶりに執り行われ賑わったことは嬉しいことです。

秋の観光シーズンは池田町も賑わうことを願っています。まだコロナ感染症が終息したわけではありません。引き続き周りへの配慮はできるようにしたいですね。

大庭美秋

議会報編集特別委員会

委員長 中山 眞
副委員長 大庭 美秋
委員 矢口 結以
委員 山崎 正治
委員 大出 美晴
委員 横澤 はま

次回議会日より発行は令和6年1月24日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。